

質問番号

11 - 1

平成28年第2回定例会

答弁資料（一般質問）

一問一答方式

質問者 中西 智子 議員

質問要旨

1. 萱野南図書館の移転問題について（再質問）

- ① 等価交換後の残地について
- ② 萱野南図書館移転後について
- ③ 市民の声のキャッチについて

答弁者 子ども未来創造局 担当部長

（生涯学習担当）

1. 萱野南図書館の移転問題について

①等価交換後の残地について（再質問）

今回の駅前移転の土地を箕面市が提供する土地を等価交換し、残りの土地と建物を箕面市が買い取る、とのことでした。この残地は現状での試算ではどの程度であり、箕面市が買い上げるのにどれくらいの費用が必要だと考えればよいでしょうか？また、残地を買い上げない、という選択肢もあったと思いますが、そうしなかった理由は何でしょうか。

<再答弁>

等価交換後の残地について答弁いたします。

今後、地権者と当該用地の買収を、また、大阪大学と現キャンパスの用地の等価交換と残地の買収交渉を行ってまいりますので、現時点において、残地の試算等、土地買収に関する市の試算をお伝えすることは差し控えさせていただきます。

また、残地を買い上げない選択肢があったのではないかとのご意見ですが、現キャンパス用地14ヘクタールは、箕面市の市街化区域に最後に残された貴重な広大空間であり、民間事業者に売却された場合、無秩序な乱開発が懸念され、周辺の良い住環境を阻害する恐れがあること、また、広大な土地であるほうが、活用策としての可能性は

広がりますので、現キャンパスの土地すべてを市が一旦保有することが最善の策であると判断したもので、現キャンパスを市が取得するための費用として、平成28年度当初予算において、97億8千万円の債務負担行為を市議会にお諮りし、お認めいただいています。

以上でございます。

②萱野南図書館移転後について（再質問）

萱野南図書館が移転したとして、その建物利用はどのように検討されていますか。また教育センターも移転されるのかどうか、どのように議論されたのでしょうか？さまざまな案が検討されての移転構想であると思いますが、どのような案が上がっているのか教えてください。あるいは、跡地利用について今後どのような手法で決めていこうとされているのかについてもお尋ねします。

<再答弁>

萱野南図書館移転後についてご答弁いたします。

萱野南図書館移転後については、教育センター移転の可能性も含め、その活用策を幅広く検討しているところです。

以上でございます。

③市民の声のキャッチについて（再質問）

「インターネット等により日常的な声をキャッチしている」とは、図書館のどのような制度なのでしょうか？

<再答弁>

インターネット等による日常的な市民の声のキャッチについて、ご答弁いたします。

先ほどご答弁申し上げましたとおり、図書館への直接のご意見は、窓口やご意見箱のほか、箕面市立図書館のホームページのお問い合わせフォームを通じて寄せられます。これらは、図書館のみならず、幅広く市政全般について市民の声を聴くための市全体の取り組みです。

以上でございます。

